

報道関係各位

2009年11月11日

サイレックス・テクノロジー株式会社

## サイレックス・テクノロジー、Windows<sup>®</sup>7に対応したSX Virtual Linkをリリース ～Mac OS X v10.6(Snow Leopard)にも対応～

サイレックス・テクノロジー株式会社（本社：京都府精華町、社長：デビット スミス）は、Windows<sup>®</sup>7に対応したSX Virtual Link for Windows<sup>®</sup> Ver.3.4.0とMac OS X v10.6(Snow Leopard)に対応したSX Virtual Link for Macintosh Ver.3.3.0のダウンロードを11月11日より開始しました。



『SX Virtual Link』



『切断要求メッセージ』

SX Virtual Link の最新版は Windows<sup>®</sup>7とMac OS X v10.6(Snow Leopard)に対応することにより Windows<sup>®</sup>とMac OSそれぞれの最新OSの環境で利用が可能になりました。既存のユーザの皆様もサイレックスのホームページから最新のSX Virtual Linkをダウンロードして利用いただけます。

[http://www.silex.jp/support/download1.html?pr=091111\\_np](http://www.silex.jp/support/download1.html?pr=091111_np)

12月1日より販売を開始する『SX-3000GB』には最新のSX Virtual Linkが同梱されています。

[http://www.silex.jp/products/usbdeviceserver/sx3000gb.html?pr=N\\_091111\\_np](http://www.silex.jp/products/usbdeviceserver/sx3000gb.html?pr=N_091111_np)

SX Virtual LinkはUSBデバイスサーバに接続したネットワーク上の任意のUSB機器を、パソコンからリモートでUSB接続できるようになります。SX Virtual Linkには以下の機能を搭載しております。

- ・ネットワーク上のUSBデバイスを検索し、メイン画面に一覧表示します。
- ・他のユーザがUSBデバイスを使用中の場合、切断要求のメッセージを送信することができます。(上記参照)
- ・タスクトレイからUSBデバイスの接続/切断等の操作ができます。

### ◆SX Virtual Link とは

USB仮想化技術を利用するためのアプリケーションソフトです。SX Virtual Linkを利用することで、USBデバイスサーバに接続したネットワーク上の任意のUSB機器を、パソコンからリモートでUSB接続できるようになります。

◆開発者及びシステムインテグレータの方へ

各種 OEM やカスタマイズのご要望にお応えいたします。詳しくは弊社ホームページまで。

サイレックス・テクノロジーについて [http://www.silex.jp/index.html?pr=091111\\_np](http://www.silex.jp/index.html?pr=091111_np)

サイレックス・テクノロジー株式会社（本社：京都府）は、ネットワークングテクノロジーを核としたソリューション事業を展開しております。世界シェア No.1 の LAN 対応プリントサーバで培った技術を土台とし、様々な機器のネットワーク化に対応、得意とするワイヤレス・組込み技術をモジュール製品の開発に活かし、Embedded 市場を開拓しています。日本、アメリカ、ドイツ、中国の 4 カ国にネットワーク事業(Connectivity & Wireless Solution)、バイオメトリクス事業(Biometrics Authentication Solution)のマーケティング、開発の体制を整えています。グローバルな事業展開を進める一方で、品質基準を厳格に保つため、設計から製造まで一貫生産体制を築いています。当社は JASDAQ(6679)に上場しています。

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

■ サイレックス・テクノロジー株式会社 PR 担当窓口（担当: 池本）

E-mail : [press@silex.jp](mailto:press@silex.jp)

Tel.03-3455-2131 Fax.03-3455-5343

- 記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。